

# KOCHI ROTARY CLUB

2020  
2021

SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3450回

2021年2月9日

2021年2月16日発行

### ● 会長挨拶



皆さんこんにちは。他府県では、コロナの緊急事態宣言が延長されていますが、幸い、私たち高知県は感染が落ち着いて、新規感染者がゼロの日も出てきました。県では、警戒レベルそのものは据え置きとしていますが、会食についてのガイドラインが4名以下、2時間以内という厳しい制限から「なるべく少人数で、なるべく短時間で」と柔らかい表現に変わりました。

また、東京では一時2,000名を超える感染者が出ていましたが昨日は267名、大阪でも119名と減少して、希望の光が見えてきました。ここでもう一踏ん張りして、1日でも早く緊急事態宣言が解除され、以前のような経済社会活動も回っていくことを願っています。

商工会議所の会報の最終ページにサラリーマン川柳が載っています。いつも楽しく読んで、にこっとして癒やされていますが、昨今はやはりコロナ関係の投稿が増えています。少し皆さんにご紹介したいと思います。

コロナ禍が ほどよく上司をディスタンス

・・・三密を避けましょうという感じです。

激論も パジャマ姿の下半身

・・・ちょっと言い過ぎかもしれませんが

会社へは来るなと上司 行けと妻

・・・リモートワークの功罪です

自粛中 見えた夫の定年後

・・・亭主元気で留守がいい。夫婦円満のためには、男は外に出た方がいいように思われます。

今週末はバレンタインです。西洋あるいは中国でも女性から男性のみならず、男女を問わず親しい方や恋人に花やケーキ、カードなどを贈る習慣が根付いています。実際、世界ではこの時期、花の消費が一番大きくなっています。皆さん、お世話になっている親しい人や家族に、ぜひ花を贈ってあげてください。フラワーバレンタインをよろしく願っています。



### ■本日のプログラム [ 2月16日 ]

時間短縮例会

国際ロータリー創立記念卓話

パスト会長 野村 茂 会員

「初期のロータリーの歴史から学ぶこと」

会 長	中 村 裕 司
副 会 長	入 交 章 二
幹 事	関 雅 文
副 幹 事	中 澤 清 一
会報責任者	隅 田 和 稔

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

◆ **委嘱状伝達**

関 裕司会員 (2021-22年度 ロータリー財団監査委員会委員長、危機管理委員会委員)



● **日銀高知支店金融広報イベント「マネー講座2021」について**

高知県には、皆さんにお金に関する知識や意識をより深めてもらうために、県庁などと連携して広報活動を行っている高知県金融広報委員会があり、日銀高知支店が事務局を務めています。この組織は各都道府県に一つずつあり、金融公庫中央委員会が全国を束ねています。ここが、2019年金融リテラシーに関するアンケートを行ったところ、高知県が金融トラブルの発生割合が日本一高い県だという結果が出たそうです。



今回、一般の方々を対象に「マネー講座2021」を2月24日(水)に開催します。詳細はチラシをお配りしていますが、このような時期ですので、申し込み先着順で定員制となっています。関心のある方は気軽にご参加ください。

● **ゲストスピーチ**

**助けてワンちゃん 犬猫の問題は人間の問題**

アニマルサポート高知家 理事長 吉本 由美 氏

私たちは、一昨年6月に設立された団体です。現在、メンバーが29名、ボランティアさんが41名。まだまだ、ボランティアが足りない状態ですので、皆さんにもご協力いただきたいと思ひます。



(活動内容のスライド上映)

迷った子ネコを見つけて保護したら、まず私たちは獣医さんに連れていき、診察と治療をしてもらい、健康になったら、預かりボランティアさんに預かってもらいます。そこで仮の名前(例えばミーコ)を付けます。呼びかけと会話をたっぷり与えられ、心身が健康になって人との暮らしに馴染んできたなら、譲渡会に出ます。犬や猫を引き取ってくださる方を里親さんと呼び、毎回、たくさんの方が足を運んでくれます。「可愛い」という人の声に反応するミーコたち、それは人の言葉を理解できるように育っているからです。もちろん犬もいます。ミルク代やフード代など必要なものはアニマルサポートが支給していますが、ボランティアさんの中には自腹で服を買い、精一杯おしやれをさせて譲渡会に送り込む人もいます。

アニサポでは、里親希望の方に1週間ほどトライアル期間をお願いします。双方の相性や環境面など、実際に体験をしてから決めてもらいたいからです。

ある譲渡会で、ご主人に先立たれ息子さんとも離れて一人暮らしをしている方が、チョコ(13歳のオス)という犬の里親になりました。それを「年下のフサフサのハンサムな方と暮らすことになりました」とSNSに投稿し、たくさんの大真面目な祝福をもらったそうです。この日から、彼女の生活

の中に語らいと朝晩の散歩が加わりました。チョコと散歩をしていると、知らない人が声をかけてくれてどんな人とも知り合える。犬1匹で私の人生が激変しましたと語ってくれました。

しかし、このような幸せなことばかりではありません。犬の名前はハク。長時間ケージの中に閉じ込められて糞尿まみれになっていました。駆けつけたアニサポメンバーの声に喜んではいませんが、外に出た記憶がなくなっていました。私たちはハクのいた部屋を片付けて、全身の毛を剃って皮膚病を治療しました。そして今、走ることを忘れていたハクが、トライアル先のご主人と嬉しそうに走っています。

多頭飼育崩壊。平凡に暮らしていた人がアルコールやギャンブル依存、リストラや離婚、何かの躰ぎで生活が荒み、人や社会に壁をつくって引きこもる。人間社会の孤立の闇の中で、動物の繁殖を止められない。隣の人、友人・知人に助けを求められない、人としてのプライドの犠牲になるのはいつも動物です。私たちはその人を責めることはありません。部屋を掃除して、ケージを搬入し、1匹ごと清潔なスペースを作ったり現場から救出したり、ケースバイケースで判断をします。そして、その一連の作業を飼い主さんにしっかりと見てもらいます。そのことが、その人の人生を立て直す一歩になることを、私たちは知っているからです。

ある放置された22匹の犬の中で、一番どんくさくて最初に捕獲された犬、ハジメと名付けられたこの犬に一目惚れをした婦人がいました。運命の出会いだと言った婦人に可愛がられ、ハジメは幸せに暮らしていました。ところがある日、一瞬の隙間にハジメは外に出てしまい行方不明になってしまったのです。連絡を受けたアニサポのメンバー



はすぐに駆けつけ、婦人に寄り添い、広範囲にわたるピラ貼り、SNSでの呼びかけ、婦人は夜も眠れず歩き続け捜し続けました。90日後、ハジメは海に浮かんでいるのが見つかりました。その悲報に婦人もアニサポのメンバーも泣き崩れました。

8ヵ月後、海岸沿いにオリーブ色の家と広いドッグランができました。目の前のオーシャンビュー、朝日と夕陽の絶景が楽しめる人と犬の宿泊施設です。ハジメをなくした婦人が造ったものです。このオリーブハウスの庭で私たちは譲渡会を開きました。婦人は「ハジメがいなくなってパニックになったとき、皆さんがすぐに駆けつけて懸命に探してください、最後まで私に寄り添ってくださいました。そのとき、譲渡会の働きが心に触れて、私も何か役立つことをしたいと思ったのです。ハジメとの出会いと別れがなければ、このハウスもドッグランもできませんでした。ハジメにも皆さんにも感謝の気持ちを形にしたかったのです」

自力で出産できない母犬が保護をされたという知らせ。数日後、帝王切開で無事に5匹の赤ちゃんが誕生しましたが、母犬は子犬を育てることができません。この命を救うのがミルクボランティアさんの登場です。3、4時間ごとの授乳、室内温度を一定に保ち、目放しができない緊張が1ヵ月間。人間の新生児を育てるのと同じパワーが必要です。目が開いたら預かりボランティアさんにバトンタッチします。

私たちは自然災害や経済破綻、またコロナなど不測の事態のとき、我が身を守ることが精一杯で、傍らの猫や犬を犠牲にして生き延びてきました。ですから、今助けたい命を

助けたいのです。おばあちゃんの膝に似合うのは猫。夫婦の語らいの真ん中には犬。高齢化や不況の不安で殺伐とした未来だからこそ、犬と猫と人の寄り添いの暮らしを提案したいのです。

見ていただいた映像の中には、今まで皆さんが見たことのない光景もあったと思います。私たちはこれは氷山の一角だと思っています。動物たちも私たちと同じ命です。これからも、助けてほしいという情報を受けて私たちは頑張っていきたいと思います。

四国の中で、高知県だけに愛護センターがありません。愛護をして里親さんにつなげるという、ボランティアさんも誰も自由に入出りできる現場がありません。2年前に公約として掲げてもらったのですが、土地もなく何もできていない状態です。もし大きな土地があつて、ここはどうかという所があれば教えていただけたらと思いますし、何とか早く設置してもらいたいと、昨年11月から署名運動を始めました。お構いなく方は署名にご協力をお願いします。また、暑い夏や、寒い冬の過酷な状態ではなく、室内で譲渡会ができる会場を提供していただければ、ぜひお声を掛けていただけたらと思います。今日はありがとうございました。



### ● 幹事報告

・行事予定の変更

4月13日 定例会 4月9日に振り替え

4月27日、28日 情報集会 中止

5月11日、18日 情報集会報告 卓話に変更

・ロータリー手帳購入希望者は回覧にご記入ください。

・ロータリー事務局員を募集しています。2月18日が締切、会員紹介に限定です。



### ◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC	2月18日	例会変更(阪)	高知西RC	2月19日	夜間例会(三)
高知北RC	2月22日→2/20に振替(三)		高知南RC	2月25日	ロータリー休日(阪)
高知中央RC	3月 4日	職場例会(城)	高知ロイヤルRC	3月16日	定款8条第1節による休会(旭)
高知東RC	3月17日	ロータリー休日(阪)	高知中央RC	3月18日	ロータリー休日(城)
高知北RC	3月22日	花見例会(三)	高知 R C	3月23日	ロータリー休日(三)
高知南RC	3月25日	花見例会(阪)	高知中央RC	3月25日	花見夜間例会(城)
高知北RC	3月29日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	3月30日	ロータリー休日(旭)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

### 😊 ニコニコ箱

- 佐竹 新市 私どもの学園のネパール留学生、ケサブ君に皆さまから熱いご支援をいただき本当にありがとうございます。生存率50%の手術に向け抗がん剤治療を続けていますが、順調とはいえず、半年以上かかります。お金もそうですが、全国から多くの激励のメッセージが届いていて、来年結婚予定のケサブ君にとっても大きな後押しとなっていて、絶対治すと言ってます。将来は高知でさらに勉学し、貿易の仕事に就くとともに、高知で学ぶ留学生を支援する団体を、今回の寄附を基に立ち上げるそうです。また、ご報告いたします。重ねてご支援に感謝いたします。
- 中澤 清一 先週ご紹介させていただきましたケサブ君への募金箱を後ろに置いてあります。彼が元気になるメッセージも歓迎です。どうかよろしく願いいたします。
- 筒井 善樹 以前、ケガをした犬を保護した際、吉本さんに助けられました。改めて感謝し、ニコニコします。
- 関 雅文 妻の誕生日にきれいな花を手配いただきありがとうございました。
- 安藤 一臣 誕生日を祝っていただきありがとうございました。
- 井上 良介 誕生日をお祝いいただきありがとうございました。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
2月 9日	(-11)88	55	15	7	81%
1月26日	休会				

### ● 累計額 [2月9日現在]

ニコニコ箱	500,000 円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	114,970 円	ポリオ募金	168,000 円
-------	-----------	--------------------------------	-----------	-------	-----------

### ■ 次週のプログラム [2月23日]

祝日の為休会

#### ◆ 3月2日のプログラム

米山記念奨学生スピーチ

高知県立大学 共同災害看護学 博士2年  
パウデル・スシラさん

創 立  
例 会 日  
例 会 場  
事 務 局

E - m a i l  
HPアドレス

**昭和12年10月**

**火曜日 12:30~13:30**

**三翠園ホテル TEL(822)0131**

**高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529**

**shinairc@joy.ocn.ne.jp**

**http://www.221.ne.jp/kochirc/**